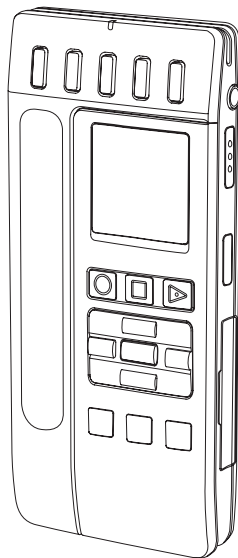
# 基本操作ガイド

# ラジオ付き IC レコーダー
# 品番 ICR-RS110MF
# ICR-RS110M

本書は、本機をすぐに使用できる操作手順を記載している基本操作ガイドです。
本機の詳細については、取扱説明書をご覧ください。
本機をご使用になる前には、必ず取り扱い説明書の「安全上のご注意」及び、本書をよくお読み頂き、後々の為に大切に保管してください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

# もくじ

# 付属品を確認する

箱から出して、以下の付属品がそろっていることを確認してください。

| ラジオ付き IC レコーダー本体 | インナーイヤー型<br>ステレオイヤホン *1 | 専用 USB 接続ケーブル |
|---|---|---|
| | 専用クレードル *2 | AM ループアンテナ *2 |
| | ピッグテール FM アンテナ *2 | microSD カード<br>（2G: ICR-RS110MF）<br>（1G: ICR-RS110M） |
| | クレードル用 AC アダプター *2 | 単三形エネループ充電池（1 本）<br>取扱説明書（保証書付）<br>基本操作ガイド |

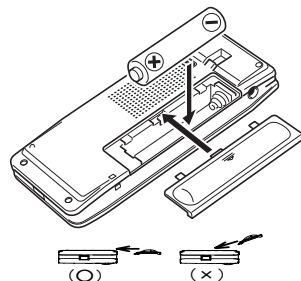
*1 本機ではリモコン付きなどの 4 極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。
*2 ICR-RS110MF のみ付属しています。

# 電源を入れる / 切る

本機に付属のエネループ充電池を入れ、本機の電源を入れます。

## 1 電池を入れる

①電池ぶたをあける
②エネループ充電池（付属）を入れる
③電池ぶたを閉める

- 電池の＋、－の向きに注意して入れてください。
- アルカリ電池をお使いになる場合は、取扱説明書をご覧ください。
- **電池ぶたは横にスライドさせて取り付けてください。斜めに差し込んで上から強く押し込むと、本機や電池ぶたが破損することがあります。**

## 2 電源を入れる

電源ボタンを押す

- 電源が入り、「HELLO!」と画面に表示された後、レジューム機能により前回電源を切る前に選ばれた動作モードが表示されます。
- 再生モードでは、前回停止した位置から再生することができます。（再生レジューム機能）

## 3 電源を切る

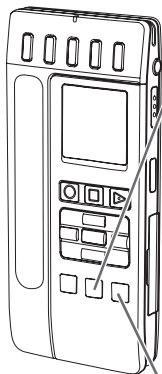
電源ボタンを 2 秒以上長押しする

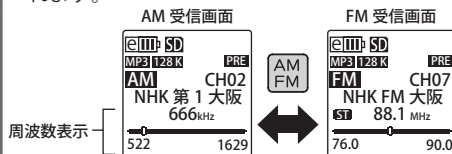
- 「SEE YOU」が表示された後、電源が切れます。

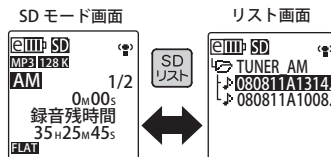
電源

SEE YOU

## 本機の動作モードについて

本機は､ラジオを聞くときの｢ラジオモード｣とボイスレコーダーやミュージックプレイヤーとして使うときの「SD モード」を切り換えて使用します。

### ラジオモード

ラジオを聞いたり、録音したりするときのモードです。
AM/FM ボタンを押すごとに AM⇔FM が切り換わります。
ラジオモードに切り換えると、画面に周波数が表示されます。

### SD/ リストモード

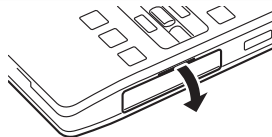
microSD カード内のファイルを再生したり、マイク録音したりするときのモードです。
SD/ リストボタンを押すごとに SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

# microSD カードを取り付ける / 取り外す

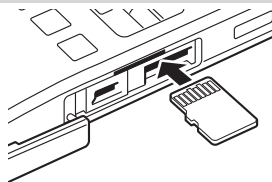
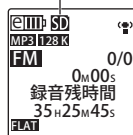
本機に付属の microSD カードを取り付けます。

**1** 本機の電源を切る

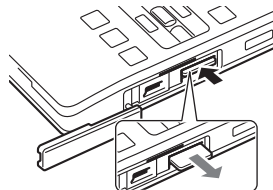
▼

**2** microSD カードスロットのカバーを開ける

▼

**3** ● 取り付けるとき
microSD カードスロットに、microSD カードを図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
- 本機の電源を入れると、画面に SD が表示されます。
- microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードを抜き、再度挿入し直してください。
- microSD カードが入っていない、または microSD カードが正しく認識されていない状態で録音、再生などの操作を行おうとすると、「SD カードを挿入して下さい」と表示されます。

● 取り外すとき

**microSD カードを軽く押し込む**

microSD カードが少し飛び出すので、ゆっくりと引き抜いてください。

## 4 microSD カードスロットのカバーを閉じる

### ■ microSD カードの取扱いについて

- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機での録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- 本機の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

# カレンダー（日時）を設定する

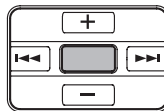
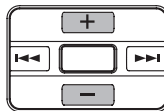
日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記録されます。（タイムスタンプ機能）
ここでは、カレンダーを「2008 年 12 月 20 日 24H 18 時 30 分」に設定する手順を説明します。

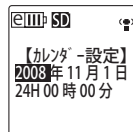
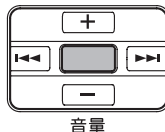
**1** 本機の電源を入れる

**2** メニューボタンを押す
設定メニュー画面が表示されます。

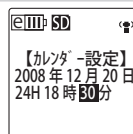
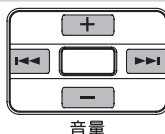
【メニュー】
録音設定
再生設定
ラジオ設定
共通設定

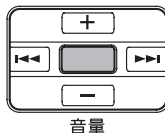
**3** 音量（＋ / －）ボタンを押して、［共通設定］を選択する

**4** 決定ボタンを押す
共通設定メニュー画面が表示されます

**5** 音量（＋ / －）ボタンを押して、［カレンダー設定］を選択する

**6 決定ボタンを押す**

カレンダー設定画面が表示されます。

**7 カレンダー日時を設定する**

① ⏮/⏭ボタンを押して、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM)、時、分を選択する

② 音量（＋ / −）ボタンを押して、数値を変更する

**8 決定ボタンを押す。**

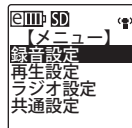
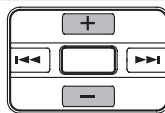
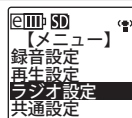
カレンダーが設定され、［共通設定］画面に戻ります。

**9 メニューボタンを押してメニューを終了する**

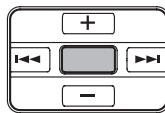
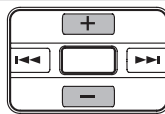
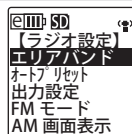
# お使いになる地域を設定する

あらかじめ設定した地域の放送局がプリセットチャンネルに登録されます。

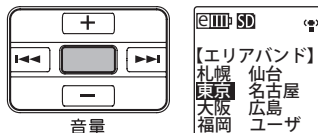
## 1 本機の電源を入れる

## 2 メニューボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

## 3 音量（＋ / ー）ボタンを押して、[ラジオ設定] を選択する

## 4 決定ボタンを押す

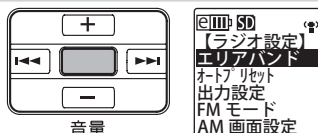
ラジオ設定画面が表示されます。

## 5 音量（＋ / ー）ボタンを押して、［エリアバンド］を選択する

## お使いになる地域を設定する

**6 決定ボタンを押す**

エリアバンド設定画面が表示されます。

**7 ⏮/⏭ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して、お使いになる地域を選択する**

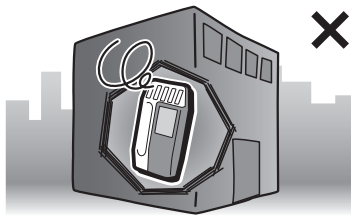
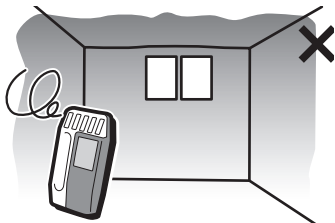
例 : ここでは［大阪］を選択しています。

**8 決定ボタンを押す。**

エリアバンドが設定され、［ラジオ設定］画面に戻ります。

**9 メニューボタンを押してメニューを終了する**

# 本機の使用場所について

本機でラジオを受信する場合は、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用してください。

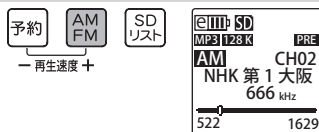
・ 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、本機のご使用は避けてください。

・ テレビやパソコンなどの家電製品の近くは、ノイズの影響を受けやすく電波を受信しにくいため、本機のご使用は避けてください。

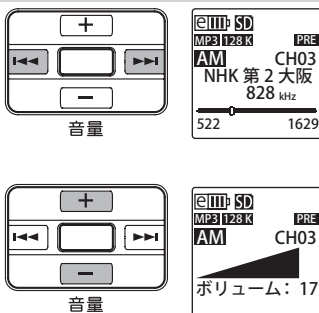
# ラジオ放送を受信する

AM/FM 放送を切り換えて、プリセットチャンネルからお好みの放送局を選局します。

## 1 本機の電源を入れる

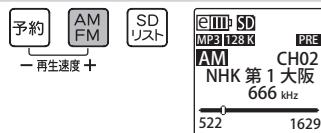
## 2 AM/FM ボタンを押し、ラジオモード画面に切り換える

- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

## 3 ⏮ / ⏭ボタンを押して、聞きたい放送局を選択する

- 聞きたい放送局が登録されていない場合は、自動選局（オートスキャンチューニング）または手動選局（マニュアルチューニング）で放送局を選局してください。
- 音量（＋ / −）ボタンを押して、聞きやすい音量に調整してください。
  音量は 21 段階（0 ～ 20）で表示されます。

## ラジオ放送を受信する

### 自動選局（オートスキャンチューニング）する

電波の強い放送局を自動で探し出して選局します。

**1 本機の電源を入れる**

**2 AM/FM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ**

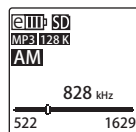
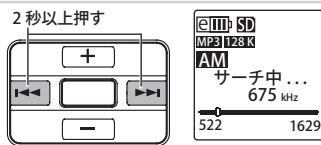
- ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

**3 決定ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える**

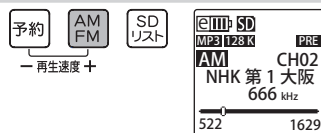
- ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
- 周波数選局モードに切り換えると画面のプリセット表示とチャンネルが表示が消えます。

**4 ⏮/⏭ボタンを 2 秒以上押す**

画面に「サーチ中…」と表示され、周波数が自動的に進み（戻り）、放送を受信すると自動で停止します。

- 電波が弱く受信状態がよくない場合は、自動で停止しません。
- 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。
- 本機をクレードルにセットした状態で AM 放送を受信した場合、妨害電波を受信して停止しやすくなりますので、クレードルにセットしない状態で実行してください。

## 手動選局（マニュアルチューニング）する

聞きたい放送局が登録されていない場合など、周波数を切り換えて選局します。

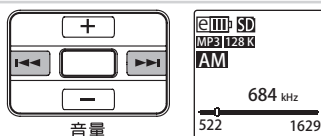
### 1 本機の電源を入れる

### 2 AM/FM ボタンを押して、AM 放送または FM 放送を選ぶ

・ボタンを押すごとに、AM と FM が切り換わります。

### 3 決定ボタンを押して、周波数選局モードに切り換える

・ボタンを押すごとに、プリセット選局モード⇔周波数選局モードが切り換わります。
・周波数選局モードに切り換えると画面のプリセット表示とチャンネルが表示が消えます。

### 4 ⏮ / ⏭ボタンをポンポンと 1 回づつ押す

・AM 放送の場合
ボタンを押すごとに 9kHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。
・FM 放送の場合
ボタンを押すごとに 0.1MHz ステップで周波数が進み（戻り）ます。

## ラジオ放送を受信する

### ■ラジオの受信について

● AM 放送

・ AM アンテナは本体に内蔵されています。本機の向きによって受信状態が変わりますので、放送がもっともよく聞こえる向きに本機を向けてください。
・ 録音している場所によって電波が弱い場合は、きれいに録音できる場所へ移動してください。
・ テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
・ AM ステレオ放送には対応していません。
・ AM 放送を録音するときは、画面表示を消すことによってノイズが軽減することがあります。

☞ **AM 画面表示を切り換える（取扱説明書 参照）**

● FM 放送

・ ヘッドホンがアンテナの役目をするので、必ず付属のヘッドホンを本機のヘッドホン端子に接続してください。また、ヘッドホンのコードはできるだけ長く伸ばした状態でお使いください。ただし、クレードルをご使用の場合、クレードルに FM アンテナが取り付けられていれば、ヘッドホンを接続する必要はありません。
・ テレビの近くで聞いていると、テレビに色ずれが生じたり、本機にテレビの雑音が入ることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。
・ FM 文字放送には対応していません。
・ FM 放送受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合は、設定メニューの「FM モード」の設定を［モノラル］に設定すると、受信状態に関わらず常にモノラル音声になるため、聞きやすくなる場合があります。

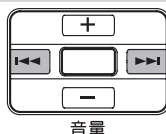
☞ **FM ステレオ / モノラルを切り換える（取扱説明書 参照）**

## ラジオ放送を録音する

本機で受信したラジオ放送を、microSD カードに録音します。

### 1 本機の電源を入れる

### 2 録音したい放送局を選局する

☞登録されている放送局から選局する（プリセット選局）（12 ページ）
☞自動選局（オートスキャンチューニング）する（13 ページ）
☞手動選局（マニュアルチューニング）する（14 ページ）

### 3 録音ボタンを押す

録音 LED が点灯し、受信中のラジオ音声の録音を開始します。

- 録音中は、画面のバックライトが常時オフになります。
- 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋ / −）ボタンで調整できます。

### 4 停止 / もどるボタンを押す

録音 LED が消灯し、録音を終了してラジオ放送受信画面に戻ります。

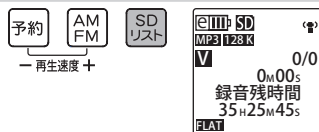
- AM 放送を録音した音声は TUNER_AM フォルダに、FM 放送を録音した音声は TUNER_FM フォルダに、録音ファイルが保存されます。

# マイク録音する

本機の内蔵マイクで、音声を microSD カードに録音します。

## 1 本機の電源を入れる

## 2 SD モード画面（またはリスト画面）を表示する

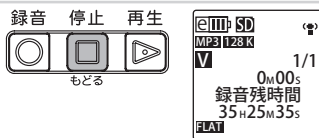
・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面が切り換わります。

## 3 録音ボタンを押す

録音 LED が点灯し、マイク録音を開始します。

・ 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。
・ 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
・ 録音中、ヘッドホンから録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋/ー）ボタンで調整できます。

## 4 停止ボタンを押す

録音 LED が消灯し、録音を終了して SD モード画面に戻ります。

・ マイク録音した場合は、VOICE（V）フォルダに録音ファイルが保存されます。

# ラジオ放送を予約録音する

本機で、ラジオ放送をタイマー予約録音します。
・ タイマー再生の方法については、取扱説明書をご覧ください。

ここでは、NHK 第 1 大阪（チャンネル 02 にプリセット）で毎週水曜日午後 7 時 30 分〜 8 時 30 分に放送される番組を、以下の手順で予約録音する方法を例として説明します。

| タイマー予約設定の手順 | 設定内容 |
|---|---|
| **step1　タイマー設定の準備をする**<br>予約設定 1 〜 5 のいずれかを選択します。 | 予約設定 1 |
| **step2　タイマーの ON/OFF を設定する**<br>タイマー設定の ON/OFF を切り換えます | ON |
| **step3　繰り返し方法を設定する**<br>繰り返し方法を、「1 回」、「毎日」、「曜日指定」のいずれかから選択することができます。 | 曜日指定 |
| **step4　曜日を設定する**<br>タイマーを動作させる曜日を指定します。 | 水曜日 |
| **step5　開始時間を設定する**<br>タイマーが作動する時間を設定します。 | PM7:30 |
| **step6　終了時間を設定する**<br>タイマーが終了する時間を設定します。 | PM8:30 |
| **step7　動作を設定する**<br>「タイマー予約録音」、「タイマー予約再生」のいずれかを選択します。 | 録音 |
| **step9　録音元を設定する**<br>タイマー録音するモードを「AM」、「FM」、「MIC」のいずれかから選択します。 | AM CH02<br>NHK 第 1 大阪 |
| **step11　録音先を設定する**<br>録音するフォルダを「T1 〜 5」のいずれかに設定します。 | T5 |
| **step12　タイマー設定の完了**<br>タイマー設定を確定します。（**必ず完了してください。**） | 完了 |

## ラジオ放送を予約録音する

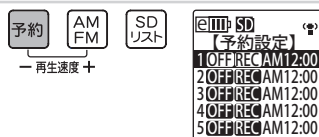
### step1　タイマー設定の準備をする

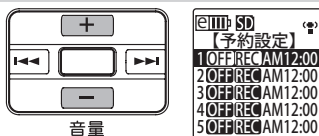
- 設定前に電池の残量が充分にあることを確認し、カレンダーを設定してください。
- 設定は 5 つまで本機に登録することができます。

**1　本機の電源を入れる**

**2　予約ボタンを押す**

予約設定画面が表示されます。

- 予約設定画面では、予約設定の一覧が確認できます。

**3　音量（＋ / ー）ボタンを押して、予約設定 1 ～ 5 のいずれかを選択する**

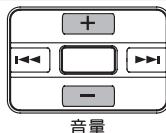
例 : ここでは 1 を選択します。

**4　決定ボタンを押す**

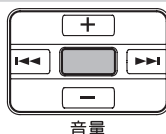
選択した予約番号の設定画面が表示されます。

☞ **「step2 タイマーの ON/OFF を設定する」へすすむ**

SD
【予約 1】　1/2
設定 :OFF
繰返し :1 回
開始 :AM12:00
終了 :AM12:00
動作 : 録音

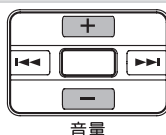
## step2　タイマーの ON/OFF を設定する

**1** **音量（＋ / −）ボタンを押して、［設定］を選択する**

**2** **決定ボタンを押す**

【設定】画面が表示されます。

**3** **音量（＋ / −）ボタンを押して、［ON］を選択する**

［OFF］: タイマーを実行しません

［ON］: タイマーを実行します

- タイマー設定が OFF になっていると、タイマー録音は動作しません。タイマー録音する場合は、ON に設定してください。設定のみ行い、タイマー録音しない場合は、OFF に設定してください。

**4** **決定ボタンを押す**

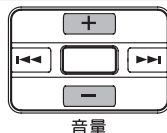
タイマー ON/OFF の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

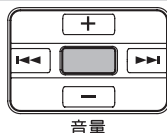
**☞「step3 繰り返し方法を設定する」へすすむ**

## ラジオ放送を予約録音する

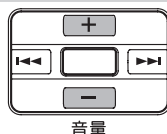
### step3　繰り返し方法を設定する

**1** **音量（+ / −）ボタンを押して［繰返し］を選択する**

【予約 1】 1/2
設定 :ON
繰返し :1 回
開始 :AM12:00
終了 :AM12:00
動作 : 録音

**2** **決定ボタンを押す**

【繰返し設定】画面が表示されます。

【繰返し設定】
1 回
毎日
曜日指定

**3** **音量（+、−）ボタンを押して、［曜日指定］を選択する**

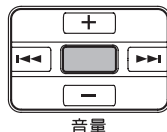
［1 回］: 一回だけ予約録音（再生）します
［毎日］: 毎日予約録音（再生）します
［曜日指定］: 指定した曜日の指定時刻に予約録音（再生）します

【繰返し設定】
1 回
毎日
曜日指定

**4** **決定ボタンを押す**

繰返し方法の設定を完了します。

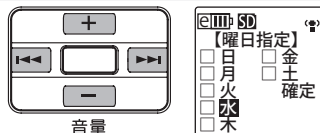
- **必ず決定ボタンを押してください。**

【曜日指定画面】が表示されます。

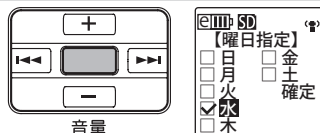
☞ **「step4 曜日を設定する」へすすむ**

2 で［1 回］または［毎日］を選択した場合は、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

【曜日指定】
□ 日　□ 金
□ 月　□ 土
□ 火　確定
□ 水
□ 木

## step4　曜日を設定する

**1** **⏮/⏭ボタン、音量（+ / ー）ボタンを押してご［水］を選択する**

**2** **決定ボタンを押す**

曜日の左の□にチェックが入ります。

- 曜日は、複数指定できます。
- チェックを取り消すときは、もう一度決定ボタンを押します。

**3** **⏮/⏭ボタン、音量（+ / ー）ボタンを押して［確定］を選択する**

**4** **決定ボタンを押す**

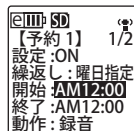
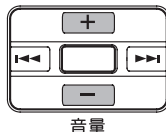
曜日の選択を完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

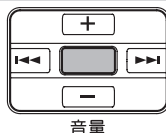
☞「step5 開始時間を設定する」へすすむ

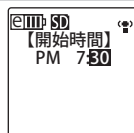
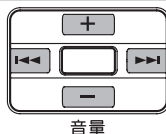
- **手順 3 で必ず「確定」を選んで決定ボタンを押してください。確定していないと設定が反映されません。**

## ラジオ放送を予約録音する

### step5 開始時間を設定する

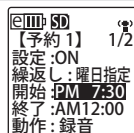
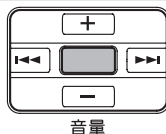
**1 音量（＋ / −）ボタンを押して、［開始］を選択する**

**2 決定ボタンを押す**

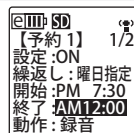
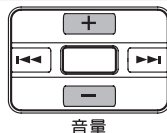
【開始時間】設定画面が表示されます。

**3 |◀◀ / ▶▶|ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して、開始時間を PM7:30 に設定する**

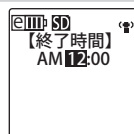
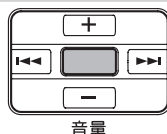
- |◀◀ / ▶▶|ボタンを押すごとに “ 時 ” と “ 分 ” を移動します。
- 音量（＋ / −）ボタンを押すごとに数値が変更されます。
- AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。

**4 決定ボタンを押す**

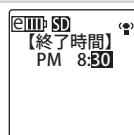
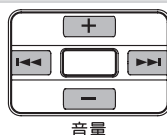
タイマー開始時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

**☞「step6 終了時間を設定する」へすすむ**

## step6　終了時間を設定する

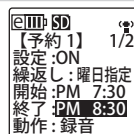
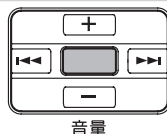
**1** **音量（+ / −）ボタンを押して、[終了] を選択する**

**2** **決定ボタンを押す**

【終了時間】設定画面が表示されます。

**3** **|◀◀ / ▶▶|ボタン、音量（+ / −）ボタンを押して、終了時間を PM8:30 設定する**

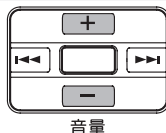
- |◀◀ / ▶▶|ボタンを押すごとに “ 時 ” と “ 分 ” を移動します。
- 音量（+ / −）ボタンを押すごとに数値が変更されます。
- AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。
- 開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。

**4** **決定ボタンを押す**

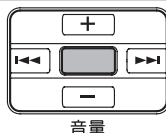
タイマー終了時間の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step7 動作を設定する」へすすむ**

## ラジオ放送を予約録音する

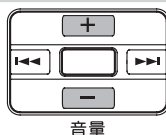
### step7　動作を設定する

**1** **音量（＋ / −）ボタンを押して［動作］を選択する**

**2** **決定ボタンを押す**

【動作】設定画面が表示されます。

**3** **音量（＋ / −）ボタンを押して、［録音］を選択する**

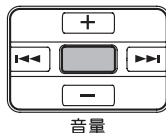
［再生］: タイマー設定時刻になると､自動的にファイルの再生を開始します。

［録音］: タイマー設定時刻になると、自動的に録音を開始します。

- ［再生］を選択する場合は、以降の手順が異なります。取扱説明書をご覧ください。

**4** **決定ボタンを押す**

タイマー動作の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step8 録音元を設定する」へすすむ**

## step8　録音元を設定する

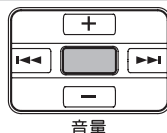
### ■録音元の設定

**1** 音量（＋ / －）ボタンを押して、［録音元］を選択する

▼

**2** 決定ボタンを押す

【録音元】設定画面が表示されます。

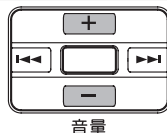
▼

**3** 音量（＋ / －）ボタンを押して、［AM］を選択する

［AM］: AM 放送を録音します

［FM］: FM 放送を録音します

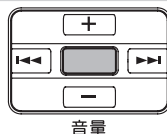
［MIC］: マイク録音や外部録音をします

- ［MIC］を選択した場合は、以降の手順が異なります。取扱説明書をご覧ください。

▼

**4** 決定ボタンを押す

録音元の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

- **必ず決定ボタンを押してください。**

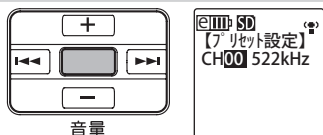
☞ **「放送局の設定」へすすむ**

## ラジオ放送を予約録音する

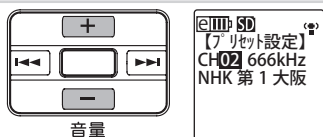
### ■放送局の設定

**1 音量（＋ / －）ボタンを押して、[CH]（チャンネル）を選択する**

・ ここでは、[CH]（チャンネル）から放送局を選択する手順を説明します。周波数から放送局を選択することもできます。

**2 決定ボタンを押す**

【プリセット設定】画面が表示されます。

**3 音量（＋ / －）ボタンを押して、録音したいラジオ放送のチャンネル（CH）を選択する**

・ ボタンを押すごとにチャンネル（CH）が切り換わります。

**4 決定ボタンを押す**

録音元の放送局の設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

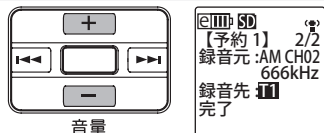
・ **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step9 録音先を設定する」へすすむ**

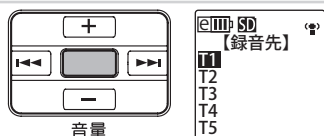
【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH02
666kHz
録音先 :T1
完了

## step9　録音先を設定する

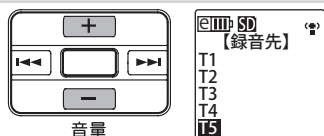
**1** **音量（＋ / －）ボタンを押して、［録音先］を選択する**

【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH02
666kHz
録音先 :T1
完了

**2** **決定ボタンを押す**

【録音先】設定画面が表示されます。

【録音先】
T1
T2
T3
T4
T5

**3** **音量（＋ / －）ボタンを押して、録音するフォルダ（T1 ～ T5）を選択する**

- ここでは、例として［T5］を選択しています。
- T1 ～ T5 以外のフォルダへ録音することはできません。
- お買い上げ時は、予約録音 1 ～ 5 の録音先は、それぞれT1 ～T5 フォルダに設定されています。

【録音先】
T1
T2
T3
T4
T5

**4** **決定ボタンを押す**

録音先となるフォルダの設定が完了し、選択した予約番号の設定画面に戻ります。

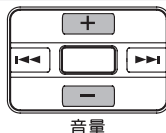
- **必ず決定ボタンを押してください。**

☞ **「step10 タイマー設定の完了」へすすむ**

【予約 1】 2/2
録音元 :AM CH02
666kHz
録音先 :T5
完了

## ラジオ放送を予約録音する

### step10 タイマー設定の完了

**1** 音量（+ / −）ボタンを押して、［完了］を選択する

**2** 決定ボタンを押す

予約設定画面に戻ります。

・ **必ず完了を選択し、決定ボタンを押してください。完了しなかった場合は、各設定項目が反映されません。**

**3** 予約ボタンを押す

SD モード画面に戻ります。

・ タイマー設定が ON になっている場合は、画面に が表示されます。

・ step1 でタイマー ON に設定している場合は、タイマー開始時刻になると録音を開始します。

・ 電源をオフにしている場合も、タイマー開始時刻になると電源が入り動作します。タイマー終了時刻になると電源が切れます。

# 録音したファイルを再生する

本機で録音した音声ファイルを再生します。

## 1 本機の電源を入れる

## 2 SD モード画面を表示する

・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面を交互に表示します。

☞ **SD リスト画面について（5 ページ）**

SD モード画面

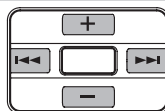
SD
MP3 128 K
V 1/1
0M00S
録音残時間
35H25M35S
FLAT

## 3 決定ボタンを押す

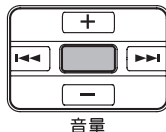
フォルダ選択画面が表示されます。

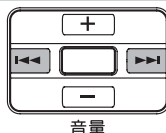
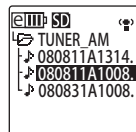
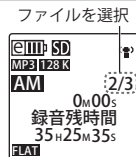
## 4 ⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / －）ボタンを押し、再生したいファイルのあるフォルダを選択する

T1 ～ T5: タイマー録音したファイルのあるフォルダ
AM: AM 放送を録音したファイルのあるフォルダ
FM: FM 放送を録音したファイルのあるフォルダ
V: マイク録音したファイルのあるフォルダ
M: パソコンから取り込んだファイルのあるフォルダ
🗑: ゴミ箱

・ 右図は、AM フォルダを選択した場合です。

## 録音したファイルを再生する

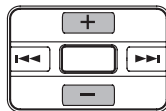
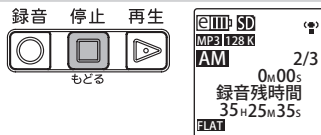
**5 決定ボタンを押す**

SD モード画面に戻り、左上に選択したフォルダ名（AM）が表示されます。

**6 ⏮/⏭ボタンを押して、再生するファイルを選択する**

- フォルダ内にたくさんのファイルがある場合は、SD/ リストボタンを押し、リスト画面に切り換えてファイルを選択すると便利です。
  ☞ **SD リスト画面について（5 ページ）**

**7 再生ボタンを押す**

ファイルが再生されます。

- 選択したファイルの再生が終わると、そのまま次のファイルを再生します。

- 音量（＋ / ー）ボタンを押して、聞きやすい音量に調整してください。
  音量は 21 段階（0 ～ 20）で表示されます。

**8** **停止ボタンを押す**
再生を停止し、SD モード画面に戻ります。

## 早送り / 早戻しするには

### ■早送り / 早戻しするには

再生中、▶▶|を押し続けると早送りします。|◀◀を押し続けると早戻しします。
ボタンを離すとその位置から再生を開始します。

- フォルダをまたがっての「早送り / 早戻し」はできません。

### ■ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中または停止中に▶▶|をポンと 1 回押すごとにファイル送りします。
|◀◀をポンと 1 回押すごとにファイル戻しします。

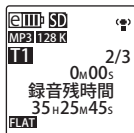
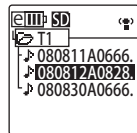
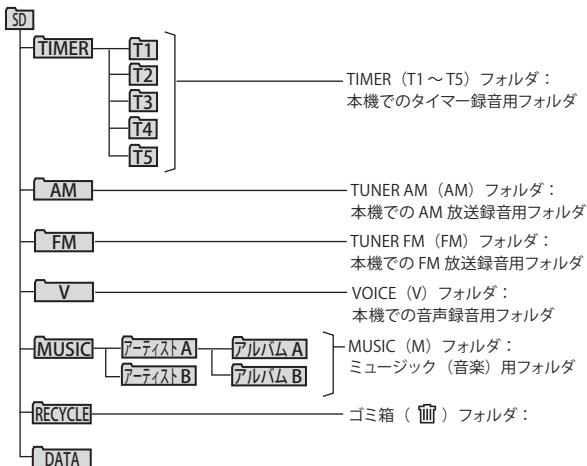
## 録音したファイルを再生する

**知っておくと便利です**

### ■ SD/ リスト画面について

リスト画面は、microSD カード内のフォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面を交互に表示します。

リスト画面は、SD モード画面で選択していたファイルを最初に表示します。

# ファイルやフォルダを消去する

## 1 本機の電源を入れる

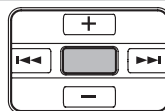
## 2 SD モード画面を表示する

・ SD/ リストボタンを押すごとに、SD モード画面⇔リスト画面を交互に表示します。

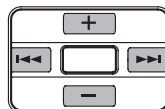
☞ **SD リスト画面について（5 ページ）**

SD モード画面

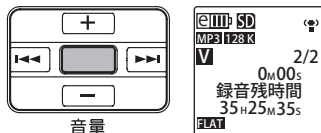
## 3 決定ボタンを押す

フォルダ選択画面が表示されます。

## 4 ⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / －）ボタンを押し、消去したいファイルのあるフォルダを選択する

T1 ～ T5: タイマー録音したファイルのあるフォルダ
AM: AM 放送を録音したファイルのあるフォルダ
FM: FM 放送を録音したファイルのあるフォルダ
V: マイク録音したファイルのあるフォルダ
M: パソコンから取り込んだファイルのあるフォルダ
🗑: ゴミ箱

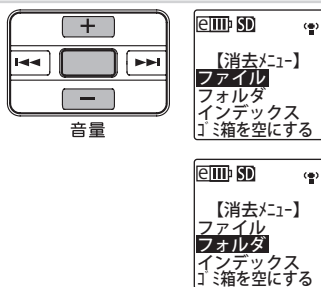
・ 右図は、V フォルダを選択した場合です。

## ファイルやフォルダを消去する

**5 決定ボタンを押す**

SD モード画面に戻り、左上に選択したフォルダ名（V）が表示されます。

**2 消去ボタンを押す。**

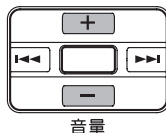
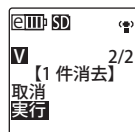
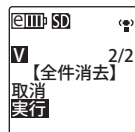
消去メニューが表示されます。

**3 音量（＋ / －）ボタンを押して、［ファイル］または［フォルダ］を選択し、決定ボタンを押す**

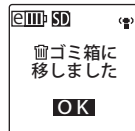
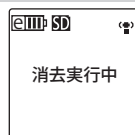
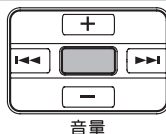
- ファイルを選択した場合
  ファイル選択画面が表示されます。
  選択したファイル（1 件）のみ消去します。
- フォルダを選択した場合
  全件消去画面が表示されます。
  選択したフォルダ内にある全てのファイルを消去します。

**4 ●手順 3 で［ファイル］を選択した場合**

**⏮ / ⏭ボタンを押して、消去するファイルを選択し、決定ボタンを押す**

手順 3 で［フォルダ］を選択した場合は、この操作は不要です。

**5** 音量（＋ / －）ボタンを押して［実行］を選択する

**6** 決定ボタンを押す

●ゴミ箱機能がオンに設定されている場合
「消去実行中」の表示後､「ゴミ箱に移しました」と表示され、ファイルがゴミ箱に移動します。もう一度決定ボタンを押すと、SD モード画面に戻ります。

●ゴミ箱機能がオフに設定されている場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去され SD モード画面に戻ります。

## ファイルやフォルダを消去する

**知っておくと便利です**

**■ゴミ箱について**

ゴミ箱機能をオンに設定すると、本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動されます。ゴミ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。

お買い上げ時は、ゴミ箱機能が「ON」に設定されています。ゴミ箱機能を「OFF」に設定すると、ファイル、フォルダの消去を行なった場合、データは microSD カードから消去され、元に戻すことができません。**誤消去防止のため、ゴミ箱機能を「ON」にすることをおすすめします。**

**■ microSD カードのフォーマットについて**

本機では、ファイルを 1 件づつ消去する「ファイル消去」、特定のフォルダ内のファイルを全て消去する「フォルダ消去」の他に、microSD カードのフォーマットで microSD カード内の全てのファイルを一括で消去することが出来ます。

また、ゴミ箱機能がオンの場合でもフォーマットを行なうとファイルが完全に消去されます。一度消去したファイルは元に戻すことができません。

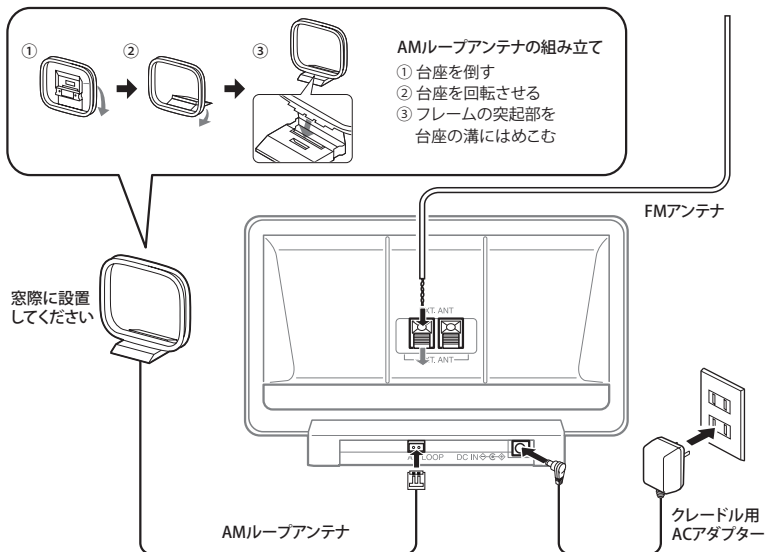
**フォーマットを行なう場合は、消去前に必ず mircoSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。**

# クレードルを使う

付属のクレードルに本機をセットすると、本機の充電や AC 電源で動作することができます。また、ラジオ放送や音声ファイルの再生をクレードルのスピーカーから出力することができます。

## クレードルを設置する

クレードルにアンテナや AC アダプターを接続し、クレードルを使用できる状態にします。

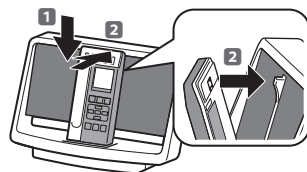
- クレードルは、安定した水平な場所に設置し、アンテナは、窓際などの電波の届きやすい場所に固定してください。

## クレードルを使う

### 本機をクレードルにセットする

#### ■クレードルにセットする

**1　本機の電源を切った状態で、本機をクレードルに差し込む**

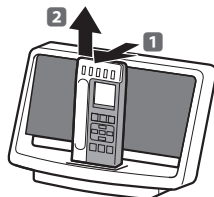
**2　本機を矢印の方向に押す**

カチッと音がして本機がクレードルにロックされます。

#### ■クレードルから取り外す

**1　本機の電源を切った状態で本機を手前に引き、ロックを解除する**

カチッと音がしてロックが解除されます。

**2　本機をクレードルから抜く**

カチッと音がして本機がクレードルにロックされます。

### クレードルで充電する

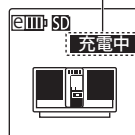
**本機の電源を切った状態でクレードルにセットする、または本機をクレードルにセットした状態で電源を切る**

- 録音 LED が点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了すると、録音 LED が消灯し、充電中表示が消えます。

電源

充電中表示

充電中

# ほかにもこんなことができます

基本的な使い方のほかにも、いろいろな使い方や便利な機能があります。
詳しくは、付属の「取扱説明書」の各ページをご覧ください

## ラジオを聞く

**受信可能な放送局を自動で登録する**
出張先や旅行先などでご使用される場合、ご利用可能な放送局を自動で探し出し、ボタンに登録できます。
**☞「オートプリセットを使う」……………………………142 ページ**

**お好みの放送局を登録する**
受信中の放送局をお好みのチャンネルに登録することができます。
**☞「放送局を登録する」…………………………………… 57 ページ**

## 録音する

**楽器演奏や自然の音などを録音する**
録音レベルを手動で調整して（ALC オフ）、録音することができます。楽器の演奏や、自然の音などを録音するときに便利です。また、原音に忠実な高音質録音（PCM 録音）もできます。
**☞「楽器演奏や自然の音などを録音する」……………………… 67 ページ**

**外部機器から録音する**
本機をコンポやラジカセ、CD・MD プレイヤーなどの外部機器と接続して、それらの音楽などを本機に録音することができます。
**☞「外部機器から録音する」………………………………… 71 ページ**

### 便利な再生機能を使う

● A-B リピート機能

再生中のファイルの一部分を指定し、繰返し聞くことができます。

☞「A-B リピート（部分リピート）再生を行う」 …………… 81 ページ

● タイムスキップ機能

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。

☞「タイムスキップを設定する」 ………………………………138 ページ

● インデックス機能

録音中、再生中にインデックスマークを付け、再生時に素早く頭出しができます。

☞「インデックスを付ける / 消去する」 ……………………… 85 ページ

### ミュージックプレイヤーとして使う

パソコンからお好みの CD や、ダウンロードした音楽ファイルなどを本機に転送して、聞くことができます。

☞「Windows Media Player で音楽ファイルを転送する」 …175 ページ

### タイマー予約再生する

指定時刻になると自動的に指定したファイルを再生 / 終了することができます。本機をアラームとして使うときに便利です。

☞「タイマー予約を設定する」 ………………………………… 96 ページ

## パソコンで使う

### 録音した音声ファイルをパソコンに保存する

USB 接続ケーブルでパソコンと接続して、録音したファイルをバックアップ保存できます。

☞「録音した音声ファイルをパソコンに保存する」…………163 ページ

### 録音した音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを、Windows Media Player を使って CD-R/RW にコピーすることができます。

☞「音声ファイルを CD-R/RW にコピーする」………………168 ページ

## その他の機能

### USB で充電する

USB 接続ケーブルでパソコンと接続して、付属のエネループを充電することができます。

☞「パソコンで充電する」……………………………………159 ページ

### 時刻自動補正機能を使う

ラジオの時報情報を受信して、現在時刻を自動的に補正することができます。

☞「時刻自動補正機能（時報設定）を設定する」……………146 ページ

# 三洋電機株式会社

**デジタルシステムカンパニー　国内販売担当**

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス　http://www.sanyo-audio.com/support/index.html



(JP1)　1AJ6P1P0046--A